

# 資料 2

R4.5.24 建設地ミーティング

## \*建設地に係る経緯

(令和3年)

- 5月27日 第1回校区別協議会代表者会議にて、現三成小敷地を建設候補地として提案。令和3年10月に建設地を決定するために、仁多地域の校区別協議会に対し各校区での検討を依頼。
- 9月29日 第3回校区別協議会代表者会議にて、町の提案（現三成小敷地での新校舎建設、既存体育館の活用、既存プール取壊しによる校庭拡張）に対する校区の考えの提出を各校区へ依頼。
- 10月20日 奥出雲町議会において学校再編・再開発特別委員会設置。
- 10月25日 各校区から回答書提出（内容は別表①のとおり）
- 11月29日 商工会、建設業協会から町長、議会へ要望書が提出される。
- 12月3日 仁多地域のみ臨時校区別協議会代表者会議を開催。町長から「建設地については、広く意見を伺った上で改めて決定する」「仁多地域は令和7年4月再編は困難である」旨を説明する。
- 12月13日 第4回校区別協議会代表者会議にて、仁多地域に対しては再編時期、統合小学校建設地を未定とした上で「学級規模を確保するための小学校再編」に対する意向とりまとめを依頼する。

(令和4年)

- 3月25日 全校区から「再編同意」の報告あり。（補足内容は別表②のとおり）
- 3月25日 3月議会最終日において、学校再編・再開発特別委員会から「統合小学校の場所は、現三成小学校という意見もあったが、現仁多中学校の隣接地が最も妥当と判断した。」との報告あり。

## 別表

校区	① 令和3年10月時点 町提案内容に対する考え	② 令和4年3月時点 再編同意報告時の補足
布勢小	(同意できない) 絶対反対というわけではなく、通学方法・安全の面・放課後などの具体的ところが不明なため、良否の判断ができないという意見が大半でした。	【抜粋】やむを得ず同意するという意見が多く‘同意する’という結論に至りましたが、上記の様に反対・わからないという意見もあるのが布勢地区の現状です。地区の皆さんの不安を解消いただけるような小学校像をご提示いただき、安心して通わせることができる子供たちにとって素晴らしい学校を創っていただくことを切に願います。
三成小	(同意) 現在の三成小学校の西校舎は耐震強度を満たしていない。候補地が決定してから仮校舎の場所が決定するとなっているが、決定後早急に対応できるよう検討をお願いしたい。子ども達が仮校舎で過ごす期間を少しでも短くできるよう、令和7年度の統合、もしくはもっと早く統合できるようであれば、7年度よりも前に新しい校舎で生活できるよう強く要望します。仮校舎は通う場所が安全であれば遠くならうとも問題ではない。一刻も早く仮校舎について提案してほしい。	「令和何年の再編なのか不透明」「統合小学校建設地の未決定」「仮設校舎の早期建設」「商工会や建設業組合からの要望書」等の課題が残るなか、純粋に「学級規模を20人程度に確保するための再編について同意いただけるか」についてだけで考えると、今後も児童の数が減少し集団活動ができにくくなる事は明らかである。協議会として「同意する」を選択する事が子供たちにとって最善の利益と考えました。優先順位を明確にして再編を進めて欲しい。
高尾小	(同意できない) 学校建替えに伴う仮設校舎の計画が決まっておらず、町提案の計画が最善であると判断ができない為。	(報告書に補足記載はありませんでした)
亀嵩小	(同意) 同意の条件 ①小学校敷地内のプール設置については、建築費や敷地利用計画を各協議会や地域に示し、設置の要不要について改めて協議すること。②プールを設置せず三成公園プールを使うとした場合、子ども達が安全かつ速やかにプールへ移動し授業が行えるよう、10月8日付回答書に記載のとおり、バス移動を確保すること。③現三成小学校敷地隣接地の用地買収を速やかに、かつ確実に進めること	学校の建設場所や統合時期、通学条件等、懸案事項が未確定のままという状況であることから、保護者の意見・要望に向き合って今後の協議を進め、子どもたちが安心して通える学校づくりを確実に進めていくことを条件として、提案に同意します。 今後の協議の参考に、保護者アンケートの結果を添付致します。【町ホームページに掲載済】
阿井小	(同意) 次の三点について要望として付記します。 ①町提案の候補地において児童の登下校や学校生活での安全性が十分確保されること②統合小学校が適切な規模で最良の教育環境となるよう今後も最大限検討いただくこと③保護者や子どもの視線に立って令和7年度統合に向けた議論が停滞することなく今後も継続されるよう努めること なお、審議の中で頂いた意見については原文のまま添付し提出します。	不明確となっている建設候補地や統合時期について、早期に決定するよう最大限の努力をお願いするとともに、より良い統合となるよう引き続き保護者をはじめ関係者との議論を深めながら事業を進めていただきたい。
三沢小	(同意) 建設予定地を決める判断材料としては不十分であり、本来、同意は不本意である。しかし、ここで躓くと令和7年度の統合が先送りしかねないため、子供のことを真摯に考えると、令和7年4月統合を最優先に考え、建設予定地に同意する。 ただし、現時点での検討内容が十分だとは思えないため、今後の進め方に不安を感じている。多くの人が納得できるものとなるよう、さらに検討を深めることはもちろんのこと、議論が先延ばしになることのないよう強く求める。 要望として、建設予定地について、同敷地内に十分な広さの校庭、プール、体育館の建設を望む。小学校跡地の利活用についても、地元住民と連携を図り、主体の一部となって考えていただきたい。 また、小学校統合だけでなく、将来を見据えてビジョンをもっと大きい視点で考えることを望む(中学校統合、中高連携した横田高校の生徒数確保、木次線利活用、奥出雲交通利用の増など)。	・現段階で考えられる最も早い統合時期となる令和8年4月には再編できるように進めていただきたい。 ・その他、関係保護者より意見のあった内容を別紙にまとめ、提出する。 【町ホームページに掲載済】